

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月27日

事業所名:児童発達支援事業所 キッズガーデンきらら館

保護者等数(児童数)15名

回収数10名

割合 67%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10				・室内も屋外もとても広く、子どもがのびのびと活動できる。	・環境構成への配慮を引き続き行っていく。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9			1		・職員数や専門性についての情報を分かりやすく伝えていく。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10				・常に綺麗で安心して子どもを送り出せる。	・引き続き、構造化や視覚支援等環境を整えていく。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10					・清潔な空間で安心して過ごすことができるよう、引き続き配慮を行っていく。	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10					・アセスメントを実施し、ニーズや課題の分析、児童発達支援計画の作成を行っていく。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10					・児童発達支援ガイドラインに沿って、引き続き、個々の発達に応じた支援内容を設定していく。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10					・支援計画に沿って、丁寧に支援を行っていく。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10					・丁寧な説明を心掛け、より個々の発達に応じた支援となるよう配慮していく。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10					・今年度はコロナ感染防止のため、交流の機会が少なかったが、今後は感染状況を見ながら行事への参加等、機会を増やしていく。	
保護者 への 説明 等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10					・丁寧な説明を心掛けていく。	
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	10					・丁寧な説明を心掛けていく。	
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	9				1	自宅での子どもの対応に困って時に相談に乗ってもらい、先生方の対応を教えてくださいました。	・引き続き個々の特性の理解やかかわり方の学びにつながるよう家族支援を行っていく。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	10						・日々の活動の様子を丁寧に伝え、共通理解を図っていく。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10						・面談や日々のやり取りを通じて、必要な情報を伝え、助言を行っていく。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	6		1	2	1	父母の会の活動は行われておらず、保護者同士と一緒に何かを行う機会がない。	・コロナ感染防止のため、保護者同士がかかわり合う時間少なかったが、今後は感染状況を見ながら、保護者同士の連携の場の提供や機会を増やしていく。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10						・相談等に対し、迅速、丁寧に対応できるよう、心掛けていく。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10						・丁寧な対応を心掛けていく。
18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9		1			年間行事の他にも月の活動をアプリで知らせてくれるため、分かりやすい。	・引き続き、Instagramやブログなども活用し、子どもたちの活動の様子が伝わるよう工夫する。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか		10				・個人情報の取扱いについて、十分な配慮を行っていく。
非常時等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	8	2			子どもたちは定期的に訓練をしているが、保護者に対してマニュアル等の周知はない。	・契約時の説明に加え、必要に応じてマニュアルを閲覧できるように対応を行っていく。 ・訓練実施の方法について説明や伝達を行っていく。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10					・定期的に避難訓練を実施し、訓練の様子を保護者へ伝えていく。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	10				活動について笑顔で話してくれ、次の日の活動も楽しみにしている。	・体調面等配慮しながら、充実した支援となるよう心掛けていく。
	23 事業所の支援に満足しているか	10				少人数だからこそできる活動も多く、楽しみの中で支援していただいている。	・引き続き、充実した支援となるよう心掛けていく。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月27日

事業所名:児童発達支援事業所 キッズガーデンきらら館

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		・利用人数に対して十分な広さである。	
	2 職員の配置数は適切であるか	○		・適切に配置されている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・子どもたちが過ごしやすきよう、不必要なものをなくし、視覚的な支援も心がけている。トイレなど子どもの高さに合わせており、段差もなくバリアフリー化がなされている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		・換気や消毒、清掃等を徹底し、環境整備に努めている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		・目標を明確にして支援を行うとともに、その反省を踏まえて振り返りや改善を行い、職員間でも共有している。	・十分な時間を設けることができていない日もあるため、時間の確保が課題である。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		・保護者等向け評価表を実施し、頂いた意見をもとに、業務改善に取り組んでいる。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・保護者向け事業所評価表及び自己評価表の結果をホームページで公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・今後検討していく。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・施設内研修として、月に3回程度、障害の知識や支援に関する研修を行ったり、外部研修に参加したりし、職員の資質向上に繋げている。	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		・アセスメントを実施し、子どもと保護者のニーズや課題を分析した上で、計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・標準化されたアセスメントツール(遠城寺式乳幼児発達検査表)を使用している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・児童発達支援ガイドラインから必要な支援項目を選択し、支援内容を設定している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		・個別支援計画を基に、さらに具体的な支援内容を記載した個別目標シートを作成し、支援を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・各グループ担当者と、立案者として話し合い、個々の現状に合った活動プログラムを設定している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・毎月の目標に合わせ、活動プログラムが固定化しないよう、様々な意見を取り入れている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた計画になるよう配慮している。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・1週間前に活動案の周知を行うとともに、当日の朝再度、目的や配慮事項などを確認している。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・活動終了後には、その日のうちに振り返りを行うようにしている。	・十分に時間を取ることができない日もあるため、振り返りの時間をしっかりと設けることができるよう、時間の使い方を工夫していく必要がある。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・日々の支援に関して記録を行い、改善につなげている。	
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・計画作成から半年後にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・子どもの状況に応じ、児童発達支援管理責任者や、担当者が参画して、事業所での様子を伝えている。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要に応じて連絡を取り、連携した支援を行っている。	
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			・該当児童なし	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・該当児童なし	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて連絡会やミーティングを行うなど、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・必要に応じて連絡会を行うなど、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
者との連携関係	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・公開療育等を通して、他事業所と交流する場を設けたり、意見を頂く機会を得ている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		・障害のない児童と同じ空間で活動する機会を設けている。今後さらに交流を増やすことができるよう、交流会などの時間を設けていく。	
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		・今後検討していく。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・コドモンを通して日々の支援の様子を伝えており、保護者からの相談も受けている。また、定期的な面談の機会や、行事等で直接話す機会も得ている。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・ファミリーサロンにて、外部講師をお呼びして、子育てに関する講話を行っている。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・丁寧な説明を心掛けている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		・丁寧な説明を心掛け、同意を得ている。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・半年に1回の面談に加え、ファミリーサロンや送迎時などに相談に応じ、助言や支援を行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		・ファミリーサロンを通し、保護者同士がかかわる機会を設けている。	・今年度は、保護者交流の時間や内容が十分ではなかったため、より良い方法を検討していく。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・相談や申し入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応するよう心掛けている。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		・月末にきらら館だよりを配信したり、Instagram・ブログ等のSNSを活用したりし、子どもたちの様子を発信している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		・個人情報の取扱いについて十分に配慮を行っている。	
	39 障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・意思疎通や情報伝達のため、配慮しながら支援を行っている。	
40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・地域住民を巻き込んだ行事の計画ができていなかった。今後は地域に開かれた事業運営を行っていく。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・各マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を行うとともに、様々な場面を想定し、年4回避難訓練を実施している。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・年間で、消防の立ち合い訓練を2回、自主訓練を2回行っている。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・服薬については、毎朝アプリにて入力していただき、てんかん発作等についてはその都度状況を確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・該当児童なし	
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・ヒヤリハット事例集を作成するとともに、迅速に周知し、対応の検討を行っている。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止委員会を設置し、子どもの人権や虐待防止に関する研修を行っている。	
47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		・身体拘束適正化委員会を設置しているが、身体拘束を行っている児童はいない。		

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)